

令和5年度 リハビリテーション連絡協議会 合同勉強会（報告）

今年度は北九州市医療機関向け補装具研修会と合同開催とし、高齢者に特に多い下肢装具や義足等補装具に関する地域でのフォローアップ体制、連携の必要性について講師から発信した。また、リハ職と補装具業者等に補装具に関わる多職種が制度や市の取組を再確認し、自身の立場でできることを共有するためグループワークを行った。

〔開催日時〕 令和5年10月6日（木）19：00～20：45

〔開催場所〕 ウェルとばた 多目的ホール

〔テーマ〕 支援者による補装具利用者へのフォローアップについて
～補装具利用者が安心して自立生活を続けるために支援者ができること～

〔参加者数〕 56名※行政職含む

〔当番区〕 若松区

〔実施内容〕

（1）各リハビリテーション連絡協議会の活動報告（東部・若松区・八幡東区・八幡西区・戸畑区）

各リハ協より、令和5年度の活動報告や今後の方針等について報告した。

（2）【情報共有】（10分）

『補装具管理手帳を用いた下肢装具・義足のフォローアップについて』

北九州市保健福祉局技術支援部地域リハビリテーション推進課 福田係長

補装具の支援を適切に受けられるよう、令和2年3月から開始した下肢装具及び義足の「補装具管理手帳」の取組について説明し、フォローアップ体制の取組み等を報告した。

（3）【講演】（50分）

『おさえておきたい補装具費支給制度のポイント —補装具を効果的に使いつづけるために』

講師：横浜市総合リハビリテーションセンター センター長 高岡 徹氏

補装具の制度、相談のタイミングの問題や相談先について講演いただき、制度周知を図ると同時に補装具のチェックポイント等を再確認した。

（4）【グループでの意見交換】（20分）

6人程度で10グループ作成し、補装具フォローアップのために明日から私ができること、他職種に聞いてみたいこと等グループワークを行った。

<発表内容>

- ・補装具に関するチラシ等がどこにあるのか知りたい
- ・補装具のチェックポイントで下肢装具の足底ゴムがはがれ、マジックテープが付きにくくなっていること等は支援者にも共有すべき情報だと思った。
- ・管理手帳を持っているか利用者に確認したい。

≪講師コメント≫

- ・補装具管理手帳を継続活用するためには、このような研修会の機会を活用し、多職種で有用性を共有することが重要だと考えている。管理手帳は利便性を考えアプリ開発して併用も検討し、リマインダーできるようにしていきたい。

令和5年度 リハビリテーション連絡協議会合同勉強会
 (北九州市医療機関等向け補装具研修会 合同開催)
 参加者アンケート結果

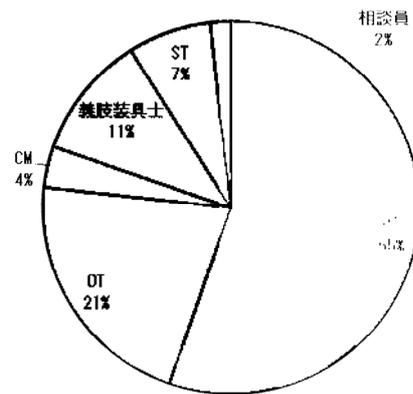
申込者：67名

参加者：56名※行政含む

回答者：46名（回収率：82.1%）

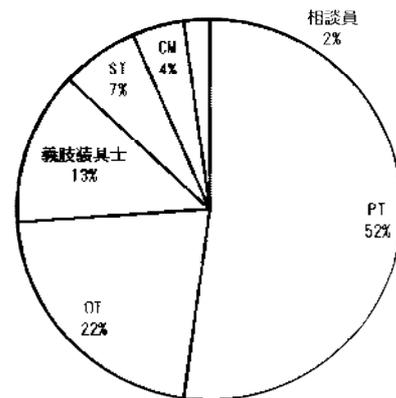
□ 参加職種

〔職種別〕行政除く 職種	人数（人）
理学療法士	24
作業療法士	10
言語聴覚士	3
義士装具士	6
ケアマネジャー	2
相談員	1
計	46



□ 回答者属性〔職種別〕

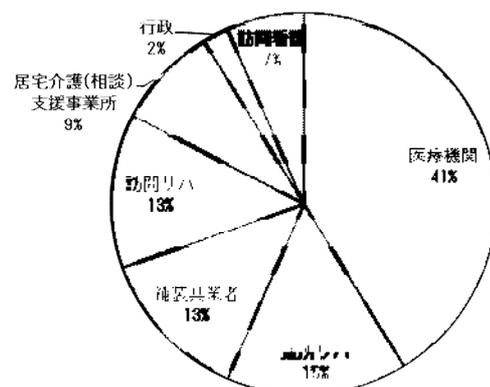
〔職種別〕行政除く 職種	人数（人）
理学療法士	31
作業療法士	12
言語聴覚士	4
義士装具士	6
ケアマネジャー	2
相談員	1
計	56



□ アンケート結果

問1 所属機関

	人数（人）
医療機関	19
通所リハ	7
補装具業者	6
訪問リハ	6
居宅介護(相談)支援事業所	4
訪問看護	3
行政	1



問2 経験年数

	人数(人)	割合
1～4年	4	9%
5～9年	14	30%
10年以上	28	61%

問3 本日の合同勉強会は参考になりましたか？

	人数(人)	割合
参考になった	44	96%
普通	1	2%
(空欄)	1	2%

問4 リハビリテーション連絡協議会の活動に参加する目的は何ですか？（複数回答可）

	人数(人)	割合
ア：他職種との情報交換や交流を深めたいから	34	74%
イ：他の病院や施設の取り組みを知りたいから	24	52%
ウ：制度や行政の取り組みについて情報が得られるから	31	67%
エ：住民や地域活動に貢献する活動ができるから	12	26%
オ：その他	0	0%
カ：活動には参加していない	4	9%

問5 リハビリテーション連絡協議会でどのような活動を期待しますか？

（研修テーマや知りたい情報、発信したい・発信してほしいこと、行ってみたい活動等についての意見）

《他職種との連携》

- ・ CM との連携強化
- ・ CM の参加させて頂けると多職種で関われる
- ・ 各種事業所（医療・介護問わず）間で連携を取っていききたい
- ・ 他職種との情報交換、他職種連携が強まるように活動していただきたいです

《疾患別のネットワーク》

- ・ がん末期の方のリハ、PT OT ST の役割について、広め方について
- ・ パーキンソン病に対するネットワークについて知りたい、きっかけがないという悩みを持っています。
- ・ フレイルについての研修
- ・ 区単位で地域リハの協力体制ができればと思います。競合他者から協力他者へとなればと思います

《地域活動》

- ・ 地域の方との交流活動など
- ・ 地域の方の健康増進に役立つ情報をリハビリの観点から提供して欲しい（提供できればと思う）
- ・ 地域課題等の把握
- ・ 地域資源に関する研修会
- ・ 様々な分野の取り組みやトピックスなどを発信して頂ければ。